

政治的暴力とテキスト分析

飯田連太郎（東京大学法学研究科）

大林一広（一橋大学法学研究科／国際・公共政策大学院）

ジョナサン・R・ルイス（一橋大学社会学研究科）

IPE研究会、2015年5月23日

東海大学代々木キャンパス

お願い

- ▶ この資料は、現在進行中の研究プロジェクトの途中経過の報告です。資料に掲載されている内容は、今後修正される可能性があります。そのため、この資料全体もしくは一部の引用や転載は、お控えください。
- ▶ この資料に関するコメントや助言を頂ける場合は、下記のメール・アドレス迄ご連絡ください。

researchontext<あっと>gmail.com

* “<あっと>”を“@”に置き換えてください。



報告の内容

- I. 研究の背景
- II. 政治的暴力と議会
- III. 議員発言のクラスター分析
- IV. Twitter分析



I. 研究の背景

- ▶ 問題意識－政治的暴力とテキスト分析
 - ▶ 国内紛争研究と語り
 - ▶ 自動内容分析(ACA)
- ▶ 事例： ナイジェリア、米国
- ▶ 3つの研究課題
 - ▶ 政治的暴力と議会：
 - ▶ 議事録のクラスター分析：
 - ▶ 市民のTwitterの分析
- ▶ 研究分担
 - ▶ 飯田：米国社会運動研究、計量分析
 - ▶ 大林：紛争研究、計量分析
 - ▶ ルイス：社会情報学、テキスト分析



II. 政治的暴力と議会

- A) 研究の問い
- B) 研究の意義
- C) 議会の効率性
- D) 仮説
- E) 研究方法
- F) 分析結果
- G) まとめ
- H) 今後の課題



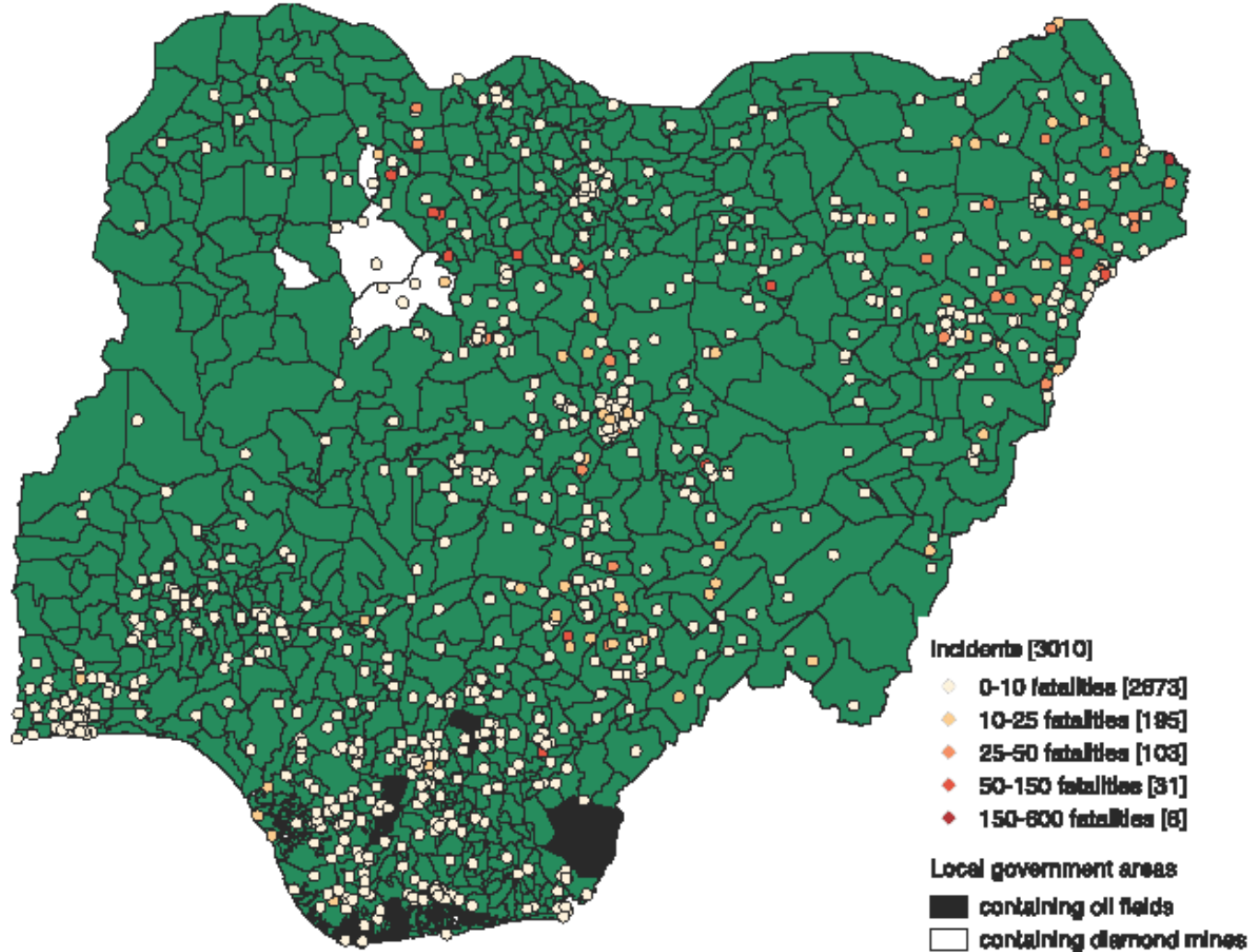
II-A. 研究の問い

- ▶ ナイジェリア国内の政治的暴力
 - ▶ 3024件(2011年1月～2014年6月)
- ▶ 国民議会上院で議題として取り上げた数
 - ▶ 92件(2011年6月～2014年6月)

⇒RQ: 会期の制約の中で、どのような政治的暴力事件が議会で議題として取り上げられるのか？

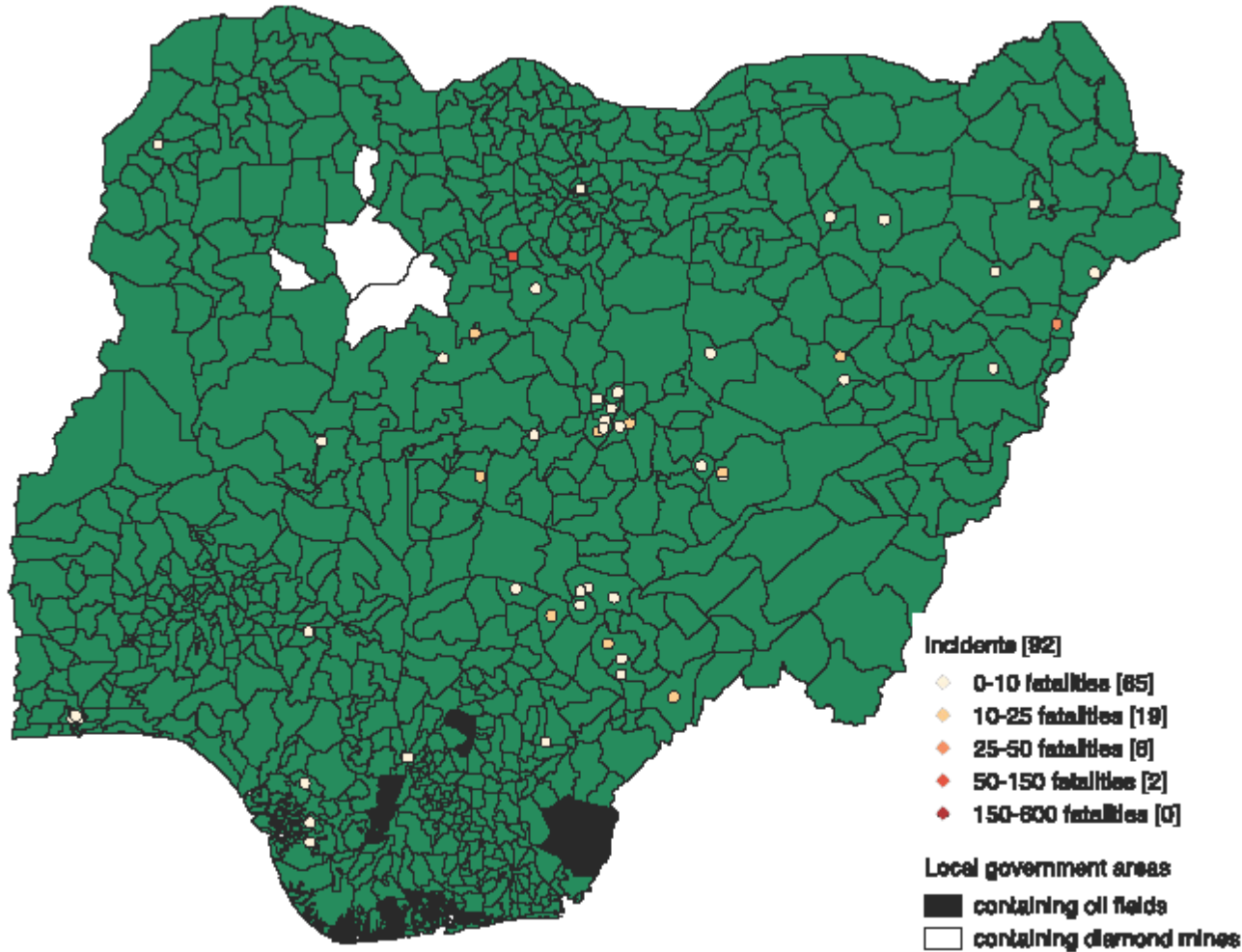


Fatal incidents reported by ACLED, January 2011-June 2014



ナイジェリア国内の政治的暴力

Fatal incidents reported by ACLED and mentioned in Senate, January 2011-June 2014



ナイジェリア国内の政治的暴力の内、議会で言及された事件

II-B. 研究の意義

▶ 国内紛争の研究：

- ▶ 政治体制が、国内紛争の発生・激しさ・期間・再発リスクを与える。
- ▶ 「民主主義制度」を総体として扱う。
- ▶ 暗黙裡に、(民主主義レベルに応じた)議会の効率性を仮定。

▶ 問題：

- ▶ 議会の行動の傾向・原因・効果について検証なし。
 - ▶ 政治体制と紛争の動態の関係について、因果関係のメカニズムの精査なし。
-



II-C. 議会の(自律性と) 効率性

代表・監視機能の遂行

効率的

非効率的

(政府からの)
自律性が高い

近年の米議会研究
(Howell and
Pevehouse, 2011)
準民主主義国議会の
自律性
(Barkan 2009)

旧来の米議会研究
(Mayhew, 1974; Gillion
2013等)

(政府からの)
自律性が低い

権威主義体制と民主的制度
(Gandhi and Lust-Okar 2009等)



II-D. 仮説

- ▶ RQ: 会期の制約の中で、どのような政治的暴力事件が議会で議題として取り上げられるのか？
 - A) 議会の効率性:
 - ▶ 市民の利益の代弁(代表機能)や行政府の監視(監視機能)に鑑み、重要な暴力事件に言及する。
 - ▶ 市民の利益 = 安全保障、経済
 - B) 議会の非効率性:
 - ▶ 個々の議員の再選可能性を高めるような事件に、言及する。



II-D. 作業仮説（1）

A) 議会の効率性（代表と監視）

仮説1A 死者数の多い事件程、議会で言及される可能性が高い。

仮説1B 事件が市民に対する一方的な暴力である場合は、議会で言及される可能性が高い。

仮説1C 国家の治安組織による暴力は、議会で言及される可能性が高い。

仮説1D キリスト教徒とイスラム教徒の割合が拮抗している地域で発生した事件程、言及される可能性が高い。

仮説2A 石油の生産地に近い地域で発生した事件程、議会で言及される可能性が高い。

仮説2B ダイヤモンド鉱山に近い地域で発生した事件程、議会で言及される可能性が高い。



II-D. 作業仮説（2）

B) 議会の非効率性（再選）

仮説3 前回選挙で接戦度の高かった選挙区で発生した事件程、議会で言及される可能性が高い。



II-E. 分析方法（1）

▶ サンプル

- ▶ ナイジェリア国内で発生した政治的暴力事件(ACLED)
- ▶ 時期: 2011年1月～2014年6月 (cf. 第7代上院、第1～3会期)
- ▶ 3024件

▶ 従属変数

- ▶ 国民議会上院で議題(の一部)として取り上げられたか否かを表す二項変数(2011年6月～2014年6月)
- ▶ 92件

▶ ロジスティック回帰分析



II-E. 分析方法（2）

▶ 独立変数

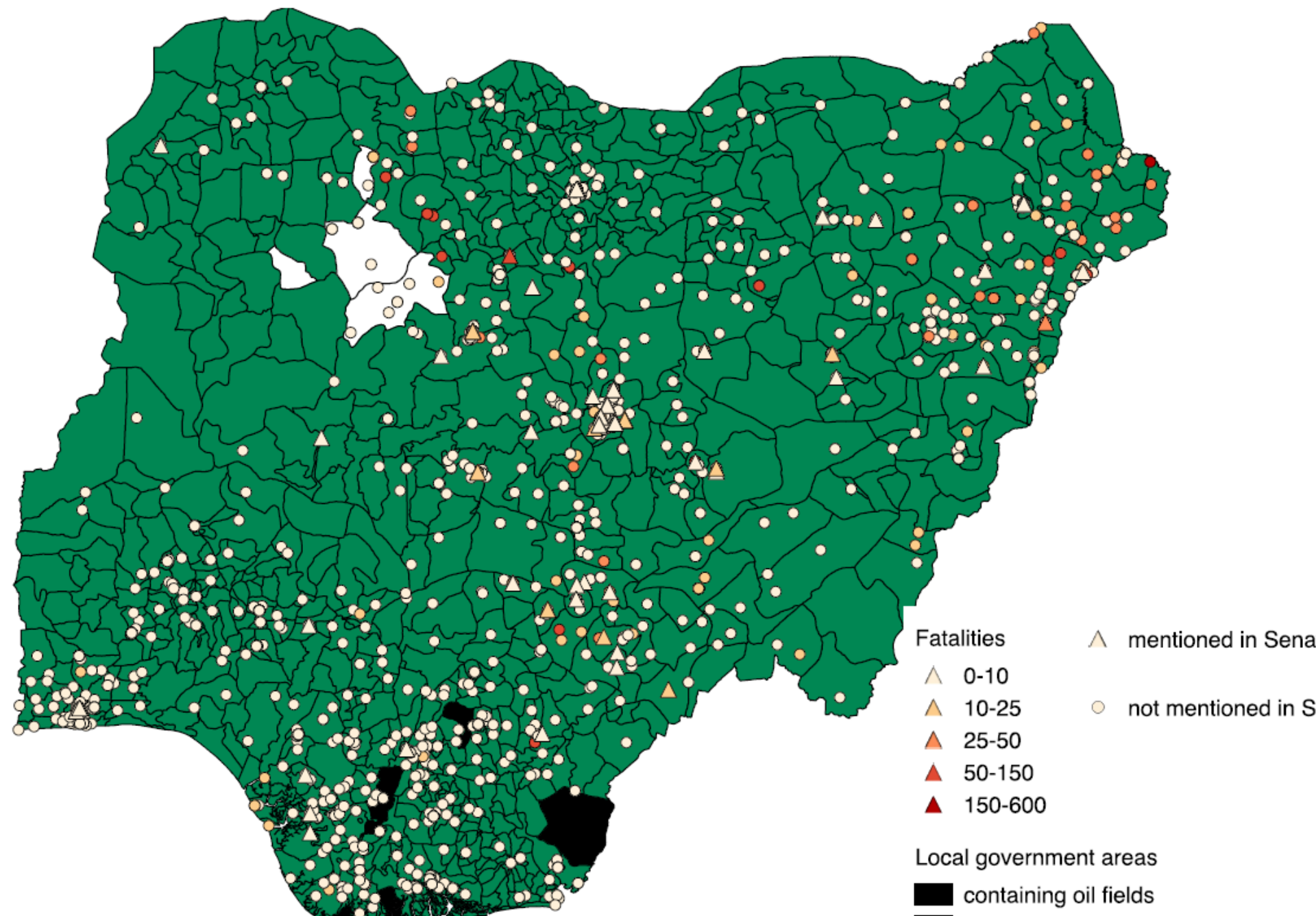
- ▶ 死亡者数
- ▶ 一方的暴力
- ▶ 国家治安組織の関与
- ▶ 州人口1,000人当たりのイスラム聖地巡礼福祉委員会会員数
- ▶ 原油産出地からの距離
- ▶ ダイヤモンド鉱山からの距離
- ▶ 選挙区の接戦度

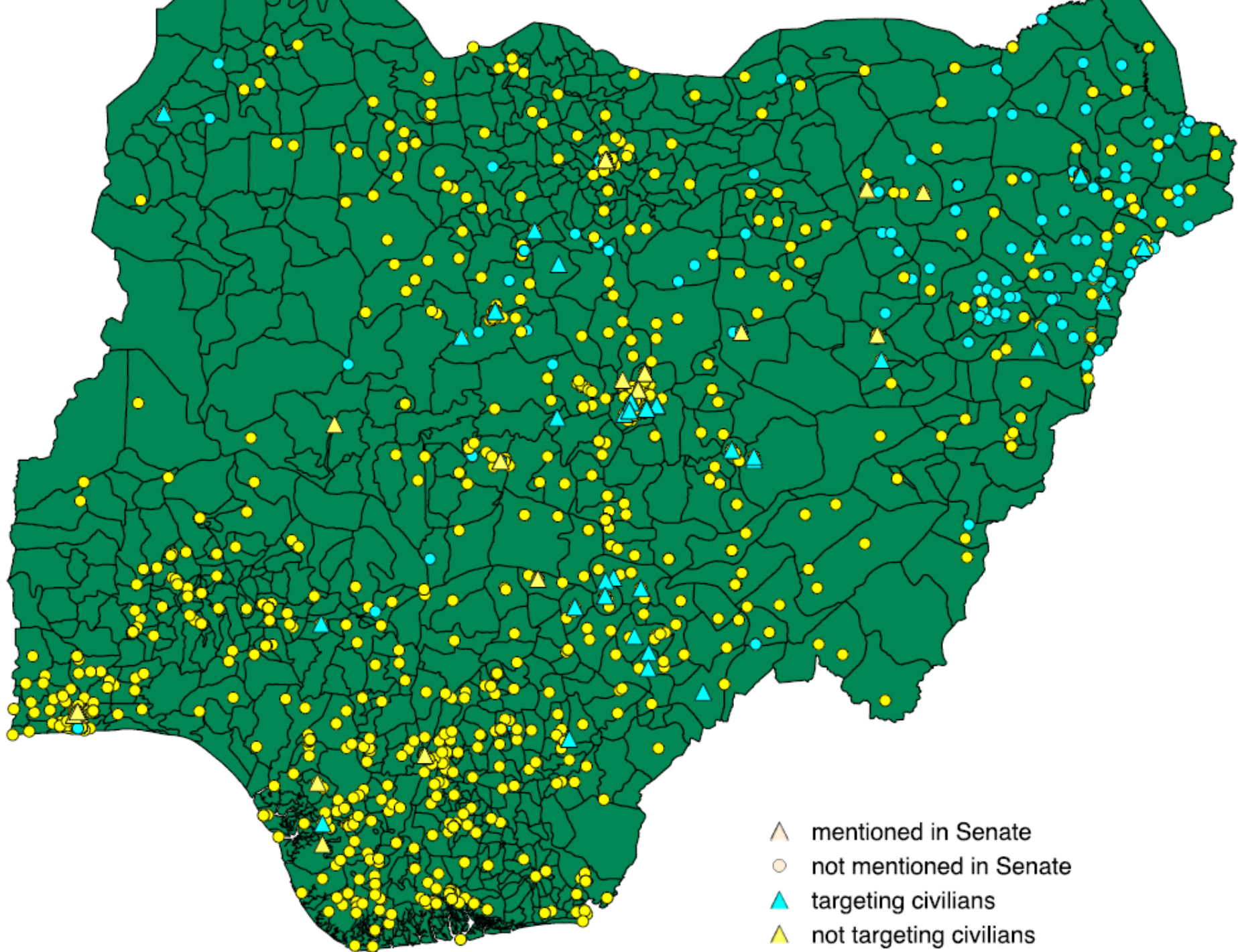


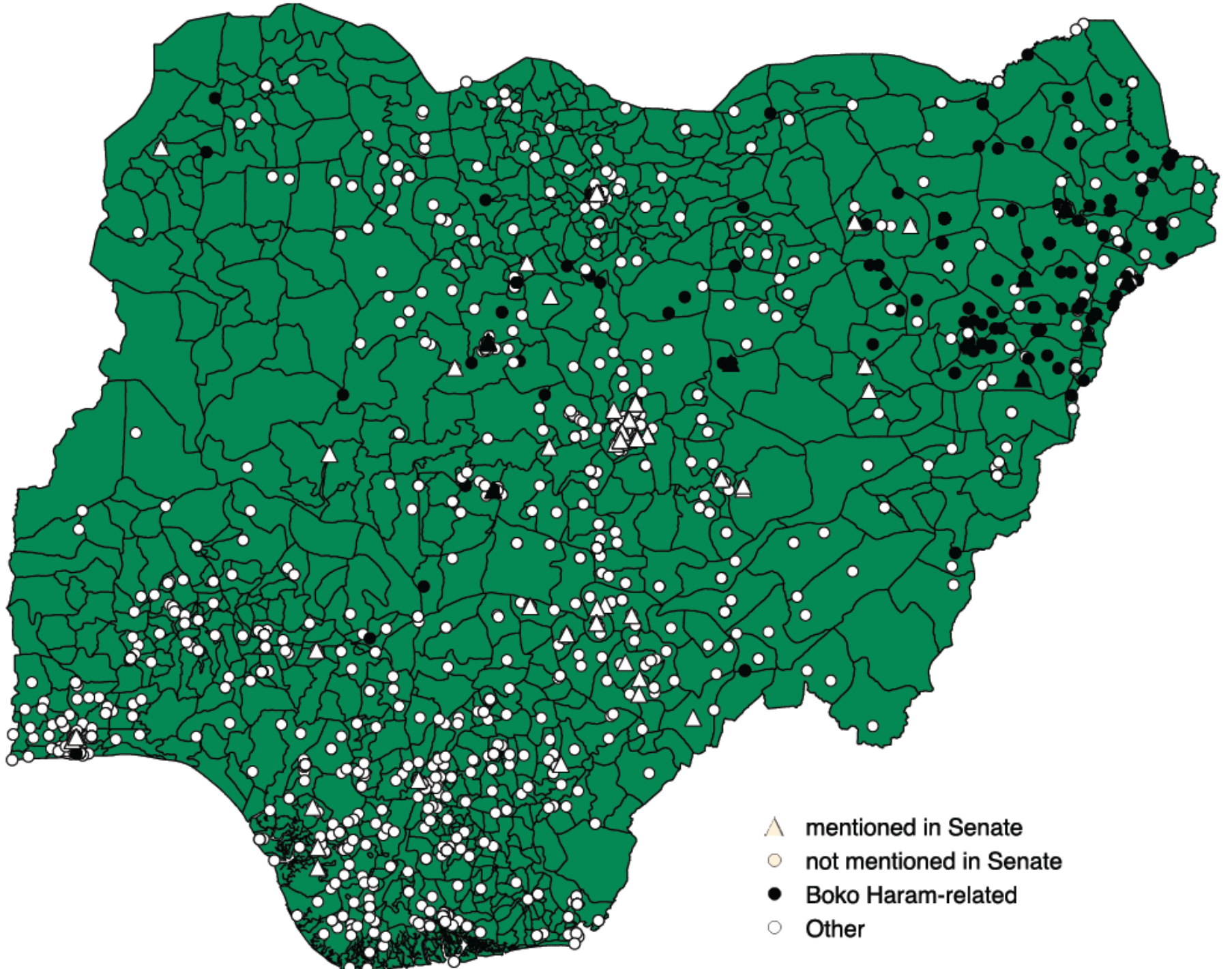
II-F. 分析結果



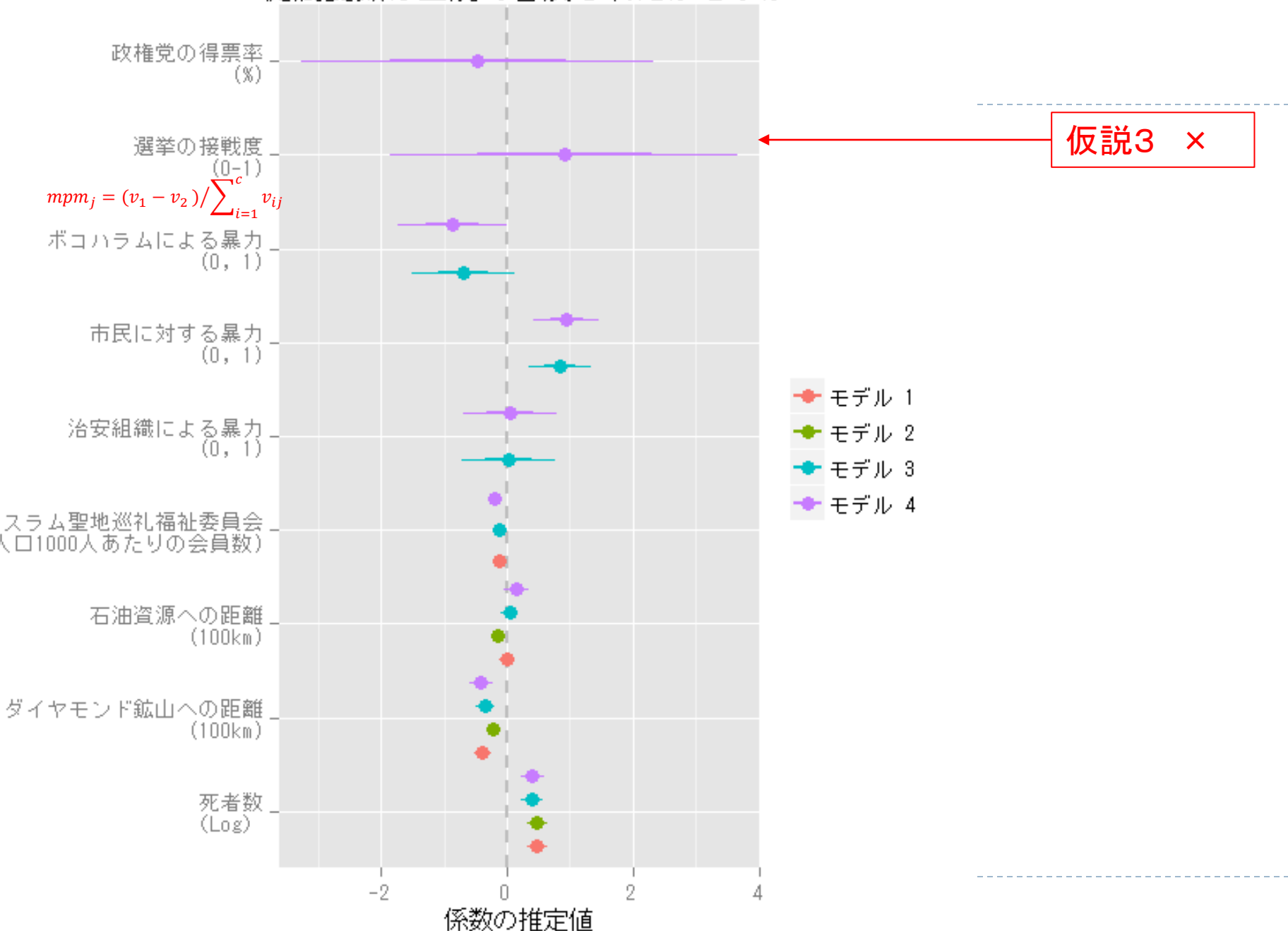
Fatal incidents reported by ACLED and mentioned in Senate, January 2011-June 2014





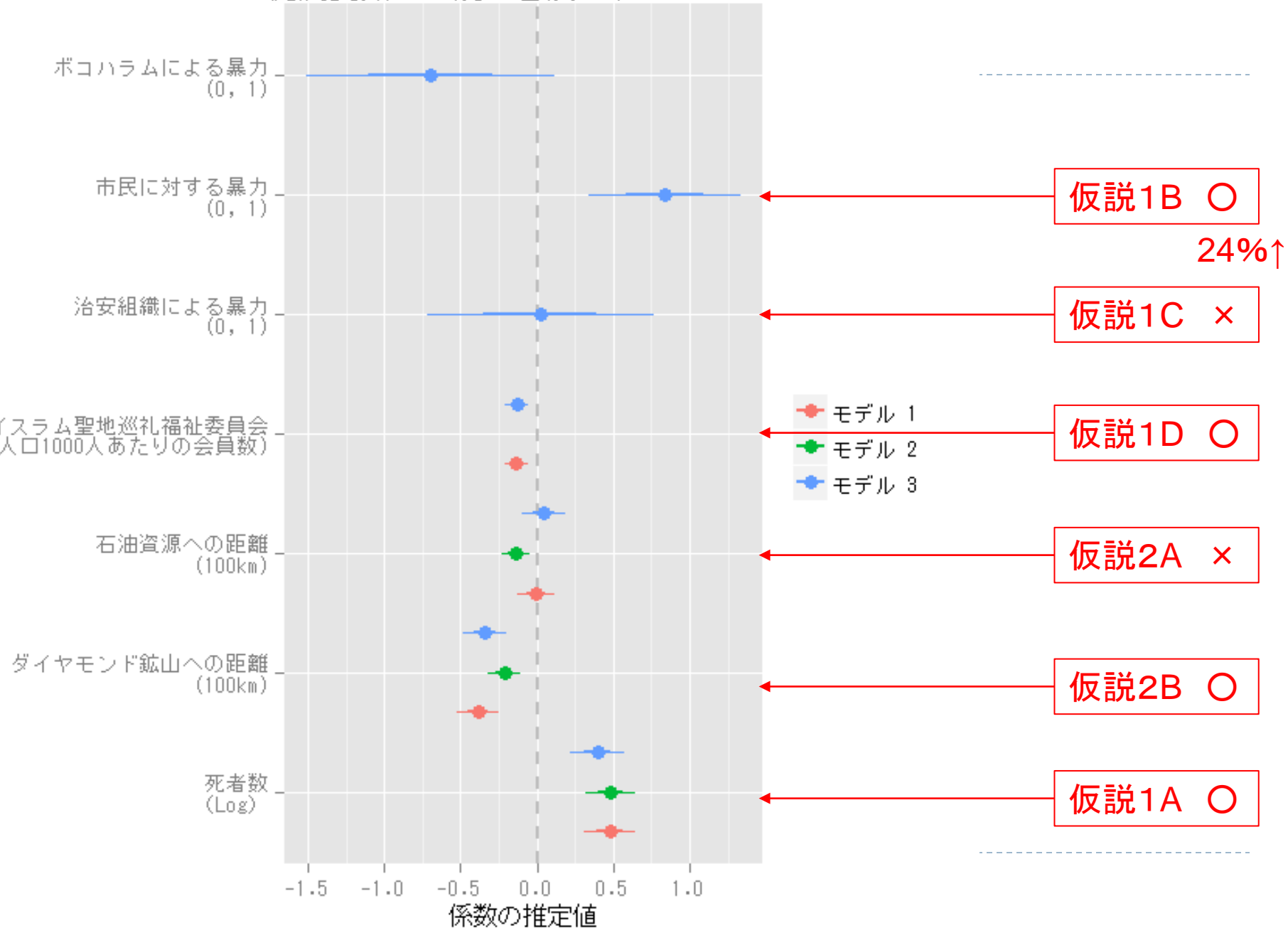


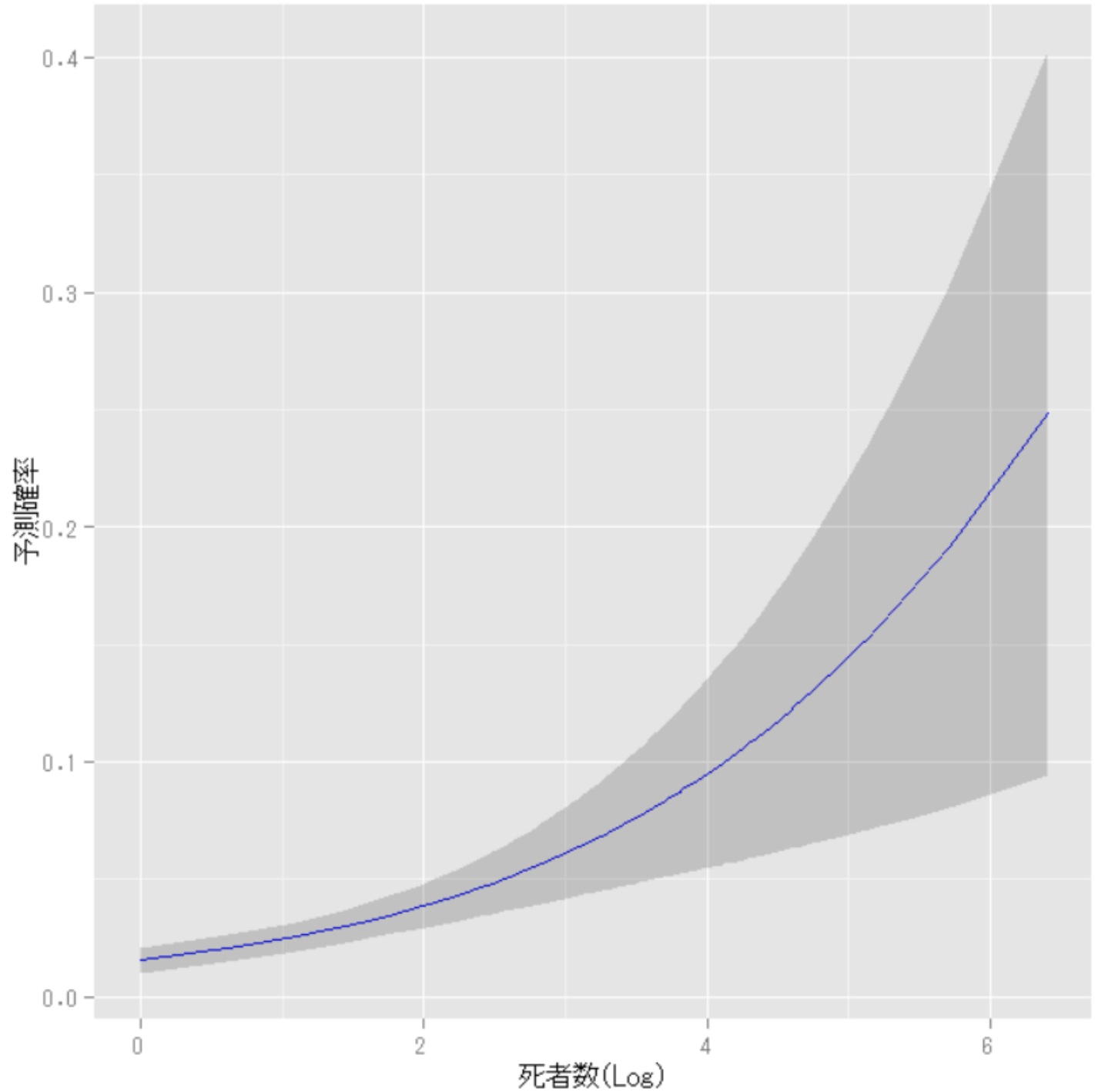
ロジスティック回帰分析の結果： 従属変数は上院で言及されたかどうか



ロジスティック回帰分析の結果：
従属変数は上院で言及されたかどうか

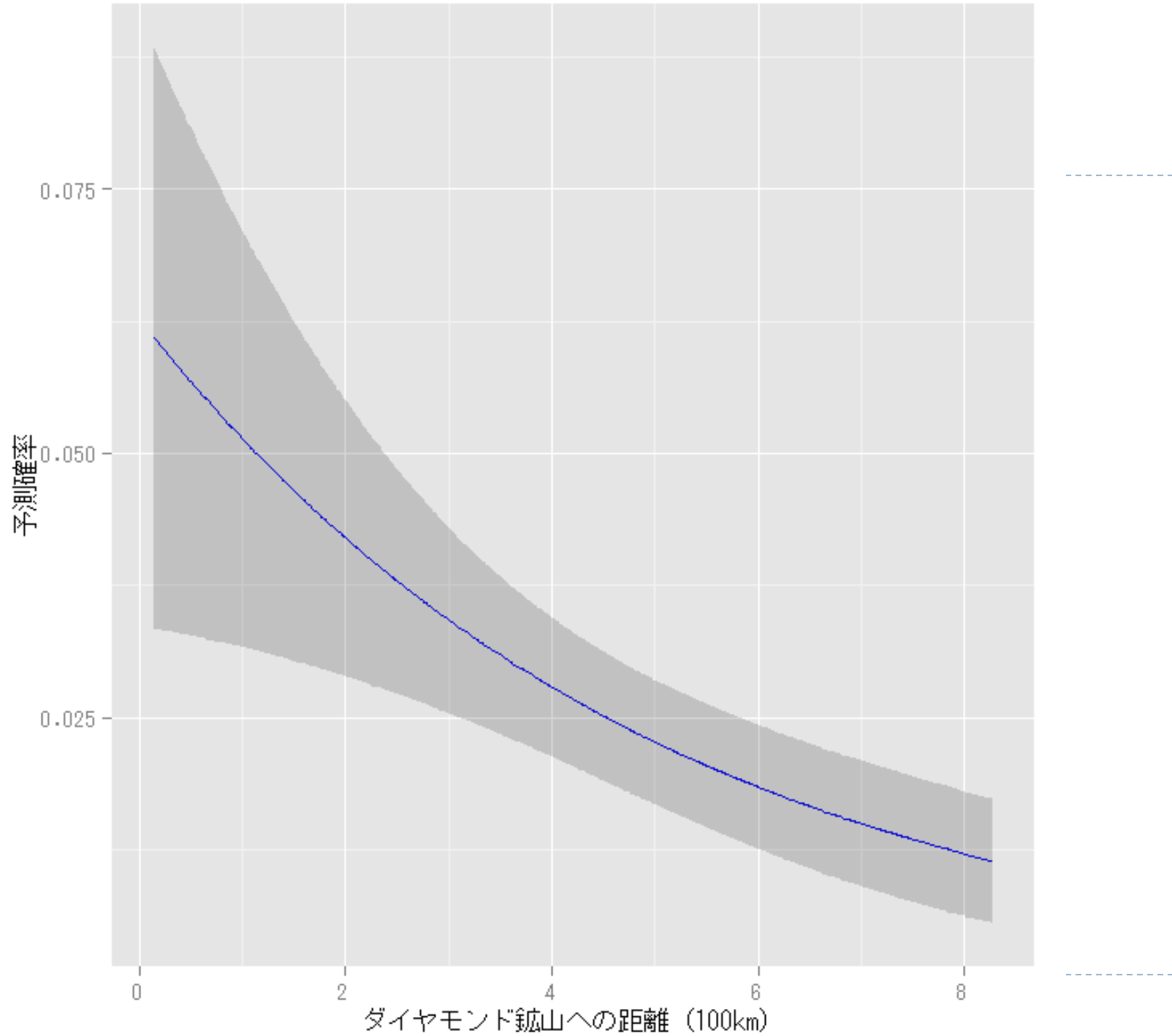
独立変数

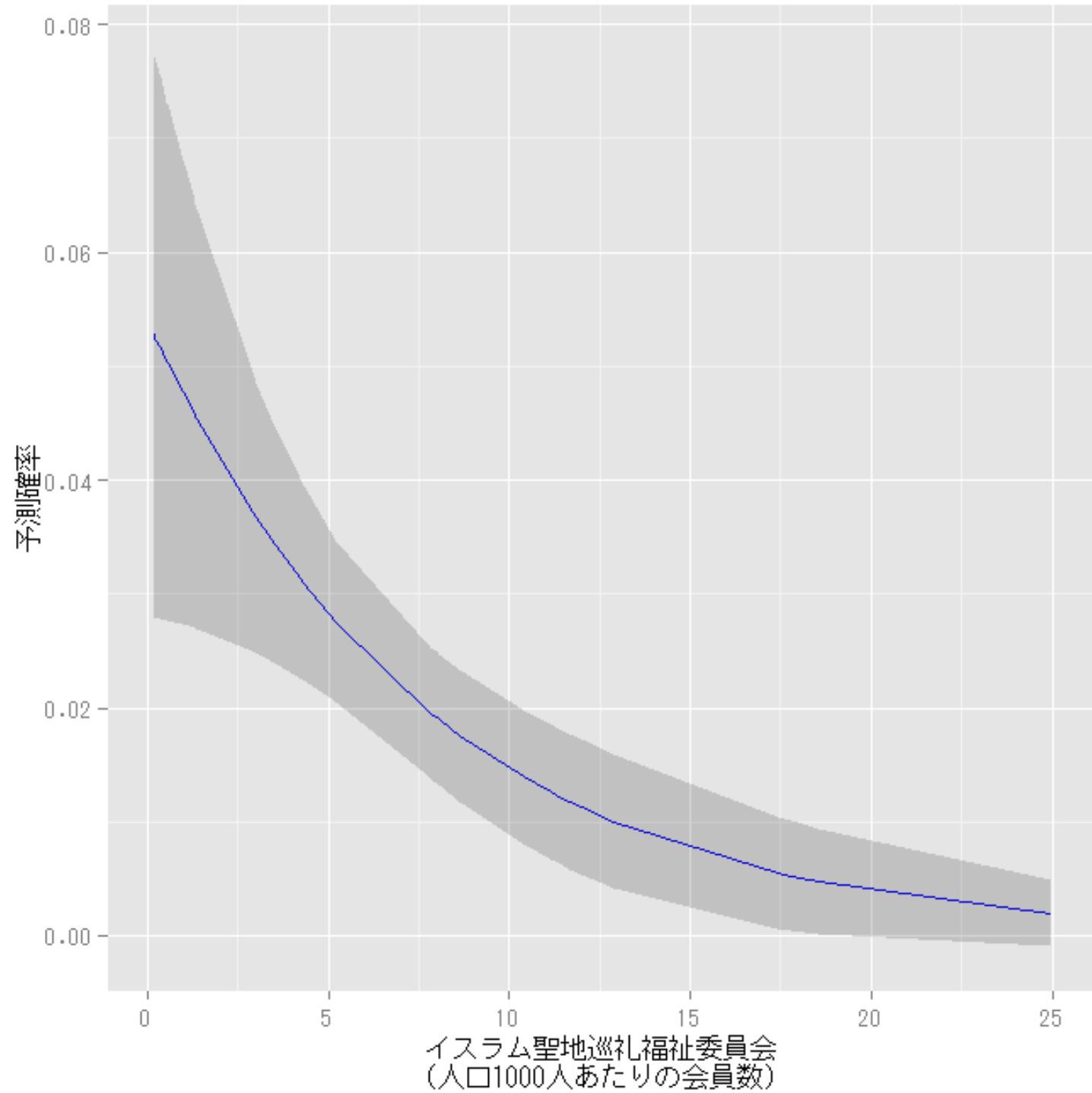




死者数(Log)

予測確率





イスラム聖地巡礼福祉委員会
(人口1000人あたりの会員数)

II-G. 結論

- ▶ 議会の代表機能の効率性
- ▶ 議会の監視機能の効率性
- ▶ 議員の私的利益(再選)



II-H. 今後の課題

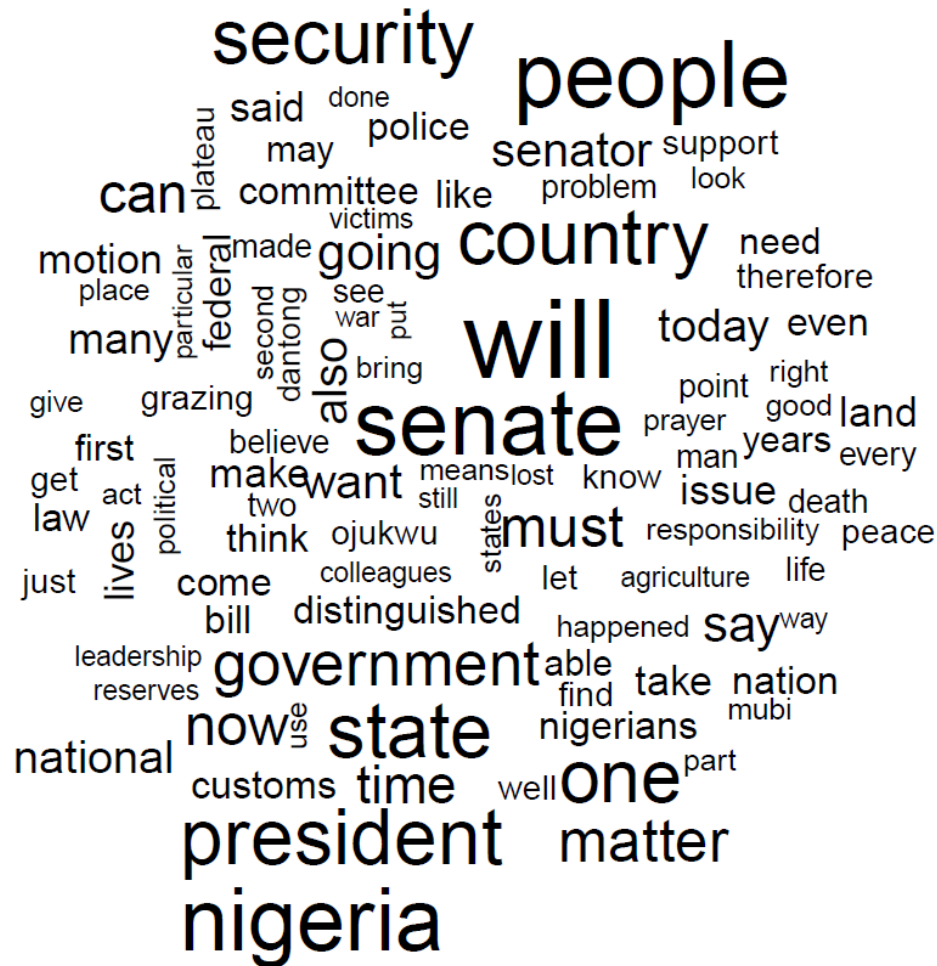
- ▶ 議会の対応
 - ▶ 従属変数の修正
 - ▶ 立法等との関係

- ▶ 発議・発言議員の属性
 - ▶ 独立変数の投入

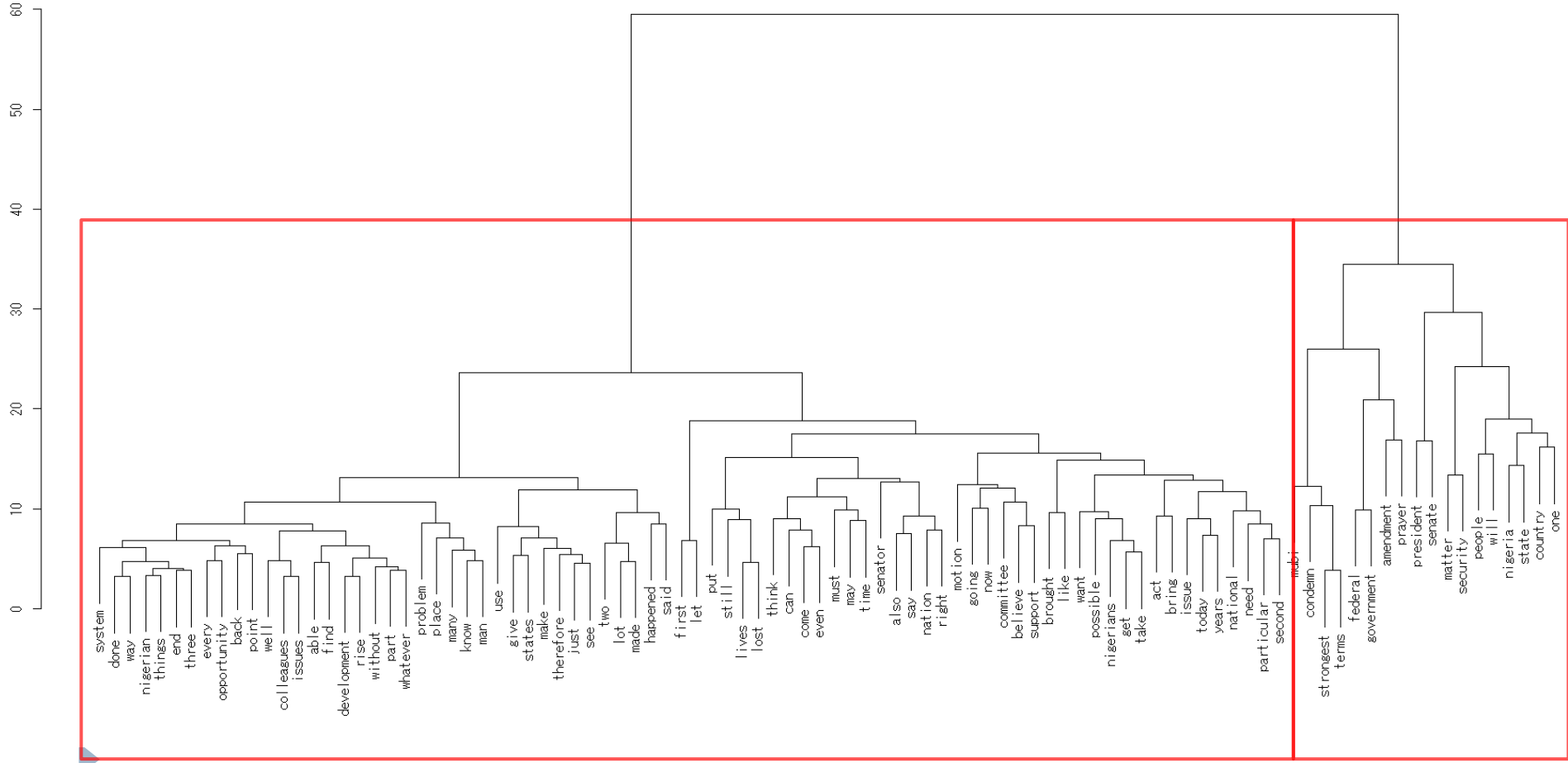
- ▶ 行政府と議会の関係
 - ▶ 理論化



発言の内容は？



III. 議事録のクラスター分析

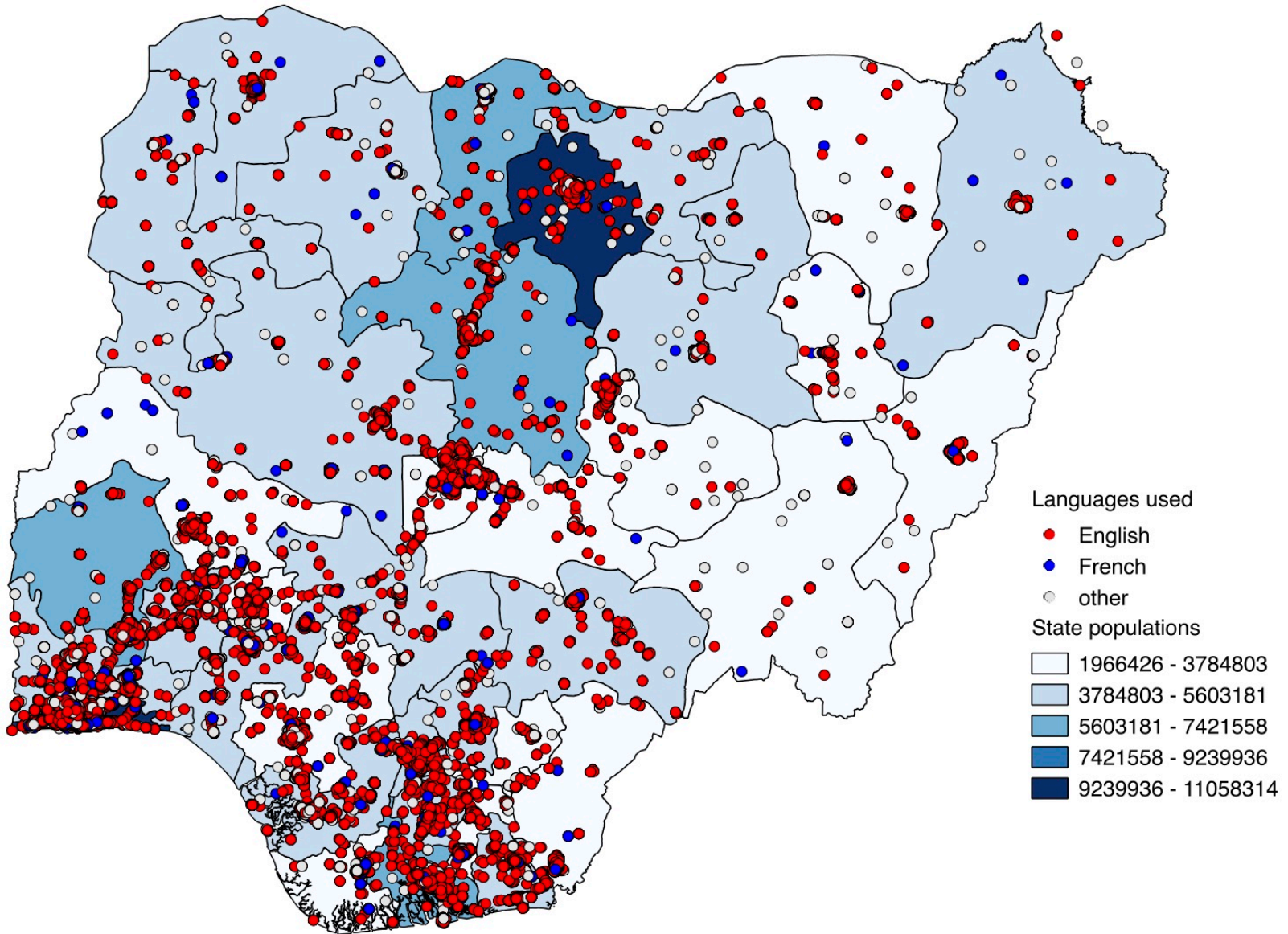


IV. 紛争についてのTwitter分析

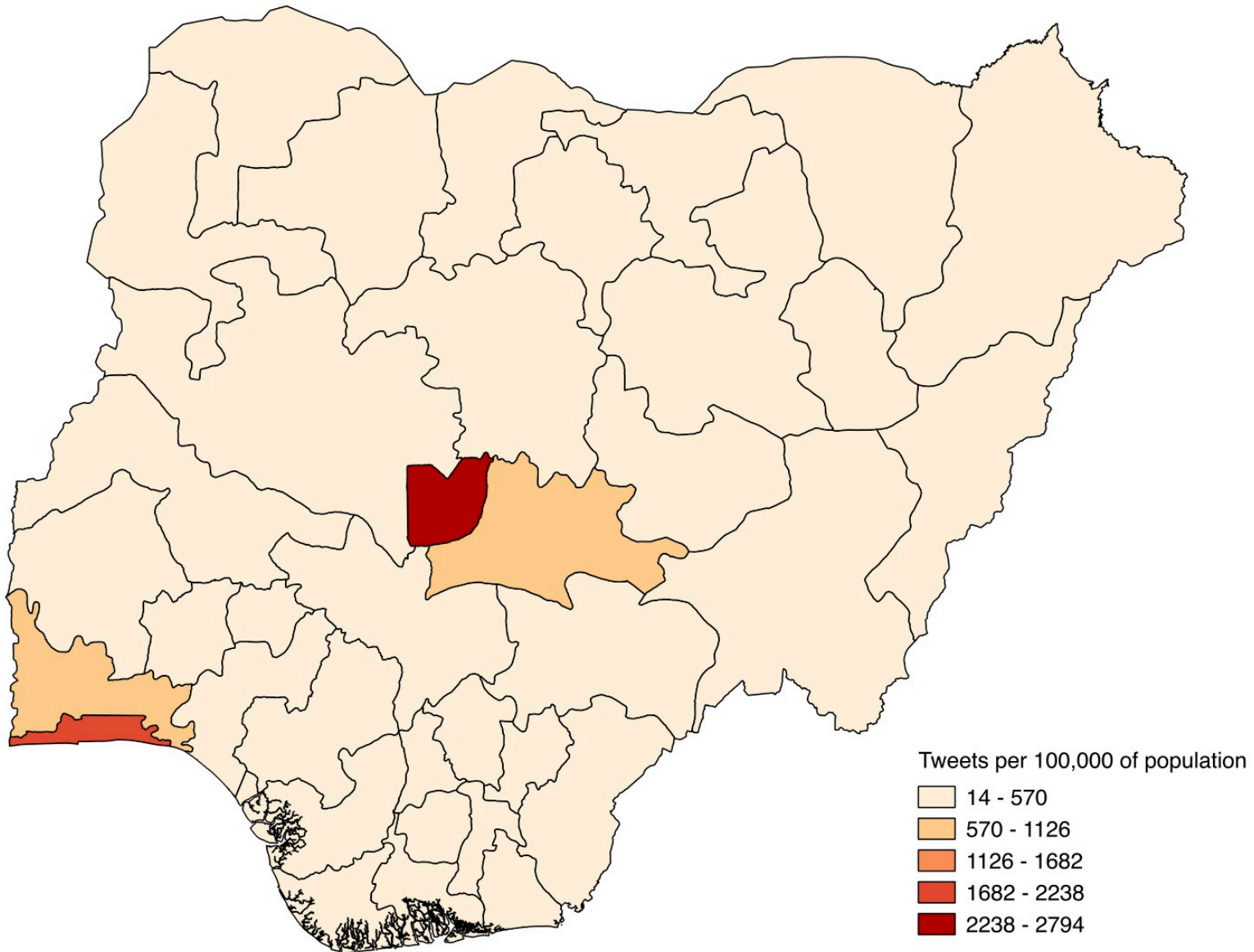
- ▶ ソーシャルメディア上で安全保障に関する情報交換が活発(Neumann et al.)
- ▶ マスメディアとソーシャルメディアの相互依存関係
- ▶ オピニオンリーダー間の意見交換(Pearce et al.)
- ▶ 市民が安否情報を交換(Monroy-Hernandez et al.)
- ▶ Twitter研究の限界の承知の上
- ▶ 2015年4月からデータ収集を開始
 - ▶ ジオタグ付きツイート
 - ▶ ナイジェリア、政治、安全保障関連のキーワード



Geotagged tweets sent in Nigeria, April-May 2015



Geotagged tweets sent in Nigeria, April-May 2015



Geotagged tweets mentioning Boko Haram, April-May 2015

